

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ
 - (1) 与党陣営の動き
～CNE MUD 擁立候補の出馬受入～
..... 1p
 - (2) 野党陣営の動き
～野党混乱 再来週には方針決定か～
..... 3p
 - (3) 外国の動き
～EU ベネに選挙監視団を派遣～
..... 4p
 - (4) 今週、来週の主なイベント
..... 5p
 - (5) 債券の元利不払い状況
..... 6p
2. ベネズエラの国別輸出額(23年)
..... 7p
3. ベネズエラの国別輸入額(23年)
..... 10p

債券指標の動き

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減
..... 12p

カントリーリスク分析



Polianalitica ✓
@polianalitica · Seguir

✕

✓ Confirmado: Hay negociaciones.

● Por intermediación de Omar Barboza hoy se dará una reunión entre María Corina Machado y Manuel Rosales.

✳️ Por sellarse acuerdo en la Plataforma Unitaria.

#Presidenciales2024





12:10 a. m. · 4 abr. 2024

i

(写真) Polianalitica

“バルボサ PUD 代表の仲裁で MCM 氏とロサレス氏が協議”

一週間のまとめ(2024年3月31日～4月6日)

(1) 与党陣営の動き ～CNE MUD 擁立候補の出馬受入～

4月2日 「選挙管理委員会(CNE)」は、7月28日に予定されている大統領選の出馬者リストを公開した。

「ウィークリーレポート No.348」で紹介した通り、大統領選の出馬申請者は13名。

CNEは、出馬申請者が大統領選に出馬する資格があるかを精査した上で、正式に出馬者リストを発表することになっており、4月2日に精査の結果が公表されたことになる。

POINT

結果的に13名の出馬者全員が受け入れられ、正式に13名の候補者が大統領選に出馬することが決まった（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1045](#)」）。

前号「カントリーリスク・レポート No.349」で紹介した通り、「野党統一連合（MUD）」は、本来の出馬受け付け期限である3月25日を過ぎて、3月26日にエドムンド・ゴンサレス氏の出馬申請を行った。

また、MUDは「ゴンサレス氏は、野党統一候補を決めるために暫定的に登録した候補者」と説明しており、本当の意味での出馬者ではない。

CNE 13名の立候補者全員の出馬を認める。

そのため、CNEがゴンサレス氏の出馬を受け入れないのではないかとの憶測もあったが、最終的には杞憂に終わったようだ。

また、日本でも話題になっているが、マドゥロ大統領がガイアナ・エセキバ法に署名。ガイアナとベネズエラが領有権を争う「エセキバ地域」について、ベネズエラの新たな領土として認識する法案を正式に承認した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1046](#)」）。

マドゥロ大統領 エセキバ地域を自国領土とする「ガイアナ・エセキバ法」に署名。

ガイアナ・エセキバ法は、まだ官報で公布されていないので正確なことは言えないが、報道によると同地域を「ガイアナ・エセキバ州」として新たな州と認識し、同地域の住民にベネズエラの身分証明書や選挙権を与えるという。

とは言え、実際のところエセキバ地域は、1899年の国際仲裁を受けてガイアナ（当時英国領）の領有権と国際的に認められており、同地域はガイアナが統治・開発を進めている。

ベネズエラがエセキバ地域の実効支配を試みることは国際的には容認されおらず、この法律を通じてベネズエラがエセキバ地域を併合することは困難なのが現実である。

ただし、同法律の議論を進めたことでガイアナ政府を領土問題の対話に引き戻したことも事実であり、一定の効果はあるだろう。

POINT

(2) 野党陣営の動き ~野党混乱 再来週中には方針決定か~

前号「[カントリーリスク・レポート No.349](#)」の通り、野党は混乱の末、「新時代党 (UNT)」からマヌエル・ロサレス氏 (現スリア州知事) が出馬。「野党統一連合 (MUD)」から暫定候補としてエドムンド・ゴンサレス氏が出馬した。

ベネズエラの選挙は電子投票システムとなっている。

下図のように、投票画面に政党とその政党が推薦する候補者の顔写真が表示され、その顔写真を押し、その後投票機から出てくる投票用紙を投票箱に入れることで投票が完了する。

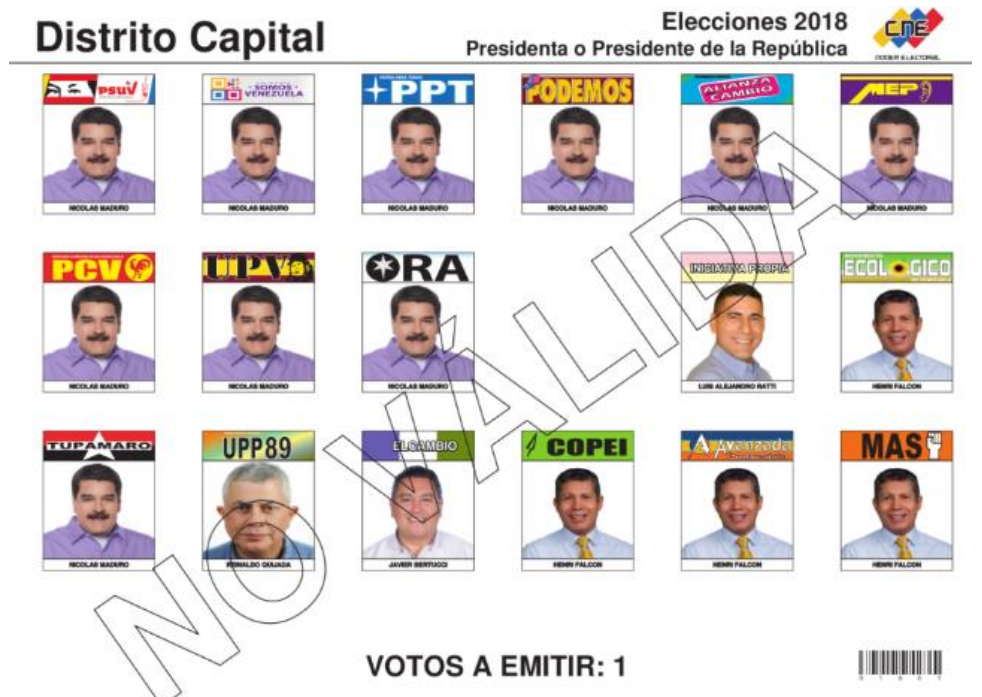
ベネズエラの選挙法上、選挙実施日の10日前までは候補者の変更が可能だが、一定期間を過ぎて候補者を変更した場合、投票画面に変更された候補者の顔写真は掲載されない。

2024年の大統領選については、4月20日までに候補者の変更を申請しなければ投票画面に変更が反映されないため、基本的には再来週までには結論を出す必要がある。

UNT からロサレス候補
が出馬。

MUD はゴンサレス氏
を暫定候補として登
録。

MUD 4月20日ま
でに野党統一候補を決
めることができるか。



POINT

ロサレス氏、MCM 氏に
対して副大統領職を提
案。

EU ベネズエラに選
挙監視団を派遣。

カーターセンター・国
連も4月中にスタッフ
を派遣か。

決断を迫られる中、野党統一プラットフォーム（PUD）のオマール・バルボサ代表の仲裁で、ロサレス氏とマリア・コリナ・マチャド氏（MCM）が協議。ロサレス氏は MCM 氏に対して、自身の当選後に副大統領職を約束することで自身への支持を求めているとの噂がある。

ただし、現在のところ MCM 氏はロサレス氏の出馬に否定的で、MCM 氏が後任候補として指名したコリナ・ジョリス氏の出馬を引き続き求める姿勢を維持している。

野党全体では「4月20日までに野党統一候補を絞る必要がある」との認識が一般的で、再来週がターニングポイントになるだろう。

(3) 外国の動き ～EU ベネズエラに選挙監視団を派遣～

4月4日 CNE のエルビス・アモロソ代表は、「4月7日に EU 選挙監視団がベネズエラを訪問する」と発表。4月9日に CNE と EU 選挙監視団の面談が行われる予定と説明した。

また、翌週（4月14日の週）にはカーターセンターの技術スタッフがベネズエラを訪問。4月末頃には国連の選挙専門家がベネズエラを訪問する予定と説明した。

与野党代表が交わしたバルバドス合意の重要テーマの1つに「外国の選挙監視団の受け入れ」が挙げられており、与野党は「EU・カーターセンター・国連から選挙監視団を受け入れること」で合意していた。

逆にこれらの選挙監視団が派遣されなかった場合、「24年の大統領選の結果を認められない」ということになりかねず、25年以降のベネズエラの政府認識に大きな禍根を残すことになる。

マドゥロ政権が野党候補の出馬を妨害する中、欧米諸国は比較的冷静に現状を見届けている印象がある。

現在はむしろ欧米諸国よりもコロンビア・ブラジル・メキシコなどマドゥロ政権と友好的な関係にある政府がマドゥロ政権に対して方針転換を求めている印象がある。

(4) 今週、来週の主なイベント

MCM氏は外国に住むベネズエラ移民に対して、4月6日に抗議行動を実施するよう呼び掛けていた。この呼びかけに呼応し、4月6日に様々な国でマドゥロ政権を批判する抗議行動が行われた。

具体的には、スペイン(マドリッド・バルセロナ・バレンシア・ビゴ・ビルバオなど)、ベルギーのルクセンブルク、オランダのハーグ、米国(ワシントン・マイアミ・ニューヨーク・オーランド・オースティンなど)、アルゼンチン(ブエノスアイレス・メンドーサ・コルドバ)、イタリアのナポリなど。

MCM氏の政党「Vente Venezuela (VV)」は、写真や動画で抗議行動の様子を報じているが、大動員とまでは言えない印象。数十名くらいの集まりだった国もあり、その中にVV関係者がいることを踏まえると実際の参加者がどれほどいるか判断が難しいところだ。

いずれにせよ、外国での抗議行動を通じてベネズエラ国内での抗議行動の機運を高めるのは難しい印象を受けた。

表： 3月31日～4月6日に起きた主なイベント

日付			内容
3月	31日	日	
4月	1日	月	CNE 大統領選の候補者変更 受付開始
	2日	火	CNE 13名全員の大統領選出馬を承認
	3日	水	マドゥロ大統領 ガイアナ・エセキバ法に署名
	4日	木	
	5日	金	
	6日	土	MCMの呼びかけによる外国での抗議行動実施

表： 4月7日～4月14日に予定されている主なイベント

日付			内容
4月	7日	日	EU選挙監視団 ベネズエラに到着予定
	8日	月	
	9日	火	
	10日	水	
	11日	木	
	12日	金	
	13日	土	
	14日	日	

(5) 債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（4月5日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,256.9	3,751.9
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,337.9	3,832.9
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	795.6	2,395.6
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,170.0	3,170.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,202.5	3,202.5
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	455.0	1,455.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	585.0	2,085.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	914.1	2,414.1
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,262.4	7,462.4
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	265.7	565.7
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	666.0	1,418.0
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,486.3	5,486.3
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,405.0	6,405.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	568.8	1,818.8
グレースピリオド満了未払					31,092	19,662.2	50,754.2
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	1,755	6,255.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	1,950	6,950.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,400	3,794.5
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	1,901	4,901.3
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	2,486	5,486.3
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,048	4,048.1
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	951	2,450.6
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,170	4,170.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	930	2,614.1
グレースピリオド満了未払					27,078	13,592.0	40,669.8
電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	331.5	981.5	
グレースピリオド満了未払					650.0	331.5	981.5
合計					58,820	33,586	92,406

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

ベネズエラの国別輸出

相手国。

1位は米国で約38.

2億ドル。

2位は中国で約7.2
億ドル。

中国向け原油輸出は、

制裁回避のため産地を

ごまかしており、実際

の中国向け輸出はもっ

と多いとされる。

2. ベネズエラの国別輸出額（2023年）

本稿では2023年のベネズエラの国別輸出額を確認したい。

ベネズエラの貿易統計は2013年から更新を停止しており、ベネズエラ貿易当局が公開している貿易情報は存在しない。

従って、本稿で紹介する貿易統計は、他国の貿易当局がベネズエラから輸入（ベネズエラが輸出）した統計を足して作成したデータを元としている。そのため、2023年の貿易統計を公開していない一部の国が数字に反映されていないので注意されたい。

次ページの表が2023年のベネズエラの主要輸出国（上位15カ国）。

ベネズエラからの輸出が最も多い国は米国で、約38.2億ドル。前年比75.1%増と急増している。

急増の理由は原油輸出の増加。

2023年の米国向け原油輸出額は約34.7億ドルで、米国向け輸出全体の90.7%を占める。

2022年10月 米国政府は「Chevron」のベネズエラ事業を許可する制裁ライセンスを発行。これを受けて、23年からChevronが米国向けの原油輸出を再開したことが輸出増の要因である。

2位は中国で、前年比13.1%減の約7.2億ドル。

中国の貿易当局はベネズエラからの輸入総額のみを公表しており、品目別の輸入実績は公表されていない。

ただし、中国の独立系製油会社は制裁回避のため、原産地を変えてベネズエラ産原油を調達しているとされており、かなりの中国向け原油輸出が中国側の貿易統計で「ベネズエラからの輸入」として反映されていないと言われている。つまり、実際の中国向け輸出はもっと多いと考えられている。

表：ベネズエラの主要輸出国

（単位：百万ドル、%）

	国名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	前年比
1	米国	11,444.2	12,750.6	13,538.5	2,016.3	179.2	319.8	449.4	3,824.3	751.0
2	中国	5,499.1	7,201.8	7,334.0	4,860.3	534.2	997.8	833.5	724.2	△ 13.1
3	スペイン	279.1	431.7	322.6	920.2	339.5	74.8	593.9	671.4	13.1
4	ブラジル	415.2	391.7	170.9	80.8	76.0	162.5	360.8	412.7	14.4
5	トルコ	65.3	116.5	1,019.2	19.8	61.8	551.2	717.5	367.1	△ 48.8
	インド	5,079.6	5,895.5	7,454.7	5,687.7	2,335.3	98.6	227.9		
6	オランダ	141.9	162.2	366.4	209.2	70.7	184.8	190.9	186.6	△ 2.3
	キューバ	1,582.6	1,773.9	2,641.8	1,770.6	1,062.1	1,245.9	161.6		
	レバノン	2.2	0.4	0.8	11.5	16.9	142.9	150.4		
7	イタリア	94.0	189.2	157.7	301.3	207.6	144.7	110.2	177.4	61.0
8	コロンビア	189.9	219.8	137.0	43.8	27.6	69.4	108.3	130.9	20.9
9	フランス	77.1	82.7	75.6	84.5	78.5	78.0	94.6	126.0	33.1
10	グアテマラ	18.0	18.6	38.2	22.2	49.8	123.9	93.0	56.6	△ 39.2
	ドミニカ共和国	70.2	36.5	101.5	19.8	5.3	13.7	83.7		
	モンテネグロ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.9		
	ガイアナ	5.5	8.7	4.0	9.4	5.6	14.2	32.0		
11	英国	170.7	121.9	50.7	42.7	47.5	37.0	15.1	43.0	185.2
12	エクアドル	9.6	17.6	8.8	9.1	11.6	17.7	46.5	41.5	△ 10.8
13	マレーシア	216.8	358.7	282.6	636.9	437.4	18.3	26.1	39.6	52.0
14	ポルトガル	24.9	28.6	13.8	29.2	29.0	34.9	17.1	38.5	125.0
15	ポーランド	21.8	26.8	26.6	10.7	0.6	3.5	111.8	33.0	△ 70.5
	その他	5,620.5	4,127.9	4,111.6	2,076.6	344.7	508.8	437.6	250.0	△ 42.9
	合計	31,028.1	33,961.2	37,856.7	18,862.6	5,920.8	4,842.5	4,937.8	7,122.8	44.2

（出所）ITC（2024年4月6日時点） ※空白欄はデータ未公表の国

POINT

**3位はスペインで約
6.7億ドル。**

**スペインへの主な輸
出品目は「原油・石油製
品」。2021年から輸
入が再開するようにな
っている。**

**4位はブラジルで約
3.7億ドル。「肥料」
「アルミニウム」の輸
出が多い。**

3位はスペインで、前年比13.1%増の約6.7億ドル。

スペイン側の貿易統計によると、6.7億ドルのうち約88%の5.9億ドルは「原油・石油製品」の輸入である。2021年にスペインによるベネズエラからの原油輸出は実質ゼロになったが、22年に約5.1億ドルに回復。23年には5.9億ドルと取引額は更に増えている。

4位はブラジルで、前年比14.4%増の約4.1億ドル。

輸出品目は1つの品目に偏っておらず、多くの品目で取引がある。最も輸出が多い品目は「肥料」で約1.8億ドル（輸出全体の約44.6%）。2番目に多いのは「アルミニウム・同製品」で約0.9億ドル（約21.7%）。

5位はトルコで、前年比48.8%減の約3.7億ドル。

ベネズエラがトルコに最も多く輸出しているのは「鉄・鉄鋼」で2023年は約3億ドル（輸出全体の81.5%）。

なお、通常であればベネズエラから多く製品を輸入しているが、まだ2023年の貿易統計を公表していない国はインド（他にも例年取引実績は多いが、2023年の貿易データが公開されていない国をリストに掲載している）。

2022年、インドはベネズエラから約2.3億ドルを輸入している。

米国が石油産業への制裁を科す以前、インドはベネズエラ産原油の主要輸入国だった。2019年までは常に年間50億ドル超の取引実績があり、この数年で両国の取引が急激に縮小したことが確認できる。

なお、日本は前ページのリストに入っていないが、国別では22番目の約1,334万ドル。日本とベネズエラの貿易詳細については「[ウィークリーレポート No.349](#)」を参照されたい。

POINT

ベネズエラの国別輸入 相手国。

1位は中国で約34.7億ドル。

2位は米国で約25億ドル。「携帯電話」「希釈剤」などの輸入が多い。

3位はブラジルで約11.5億ドル。「食品関連製品」の輸入が多い。

3. ベネズエラの国別輸入額(2023年)

次にベネズエラの国別輸入額を確認したい。

「[2. ベネズエラの国別輸出額\(2023年\)](#)」と同様のやり方でデータを作成しており、2023年についてはパナマ・メキシコ・インドなど一部の国の貿易実績が反映されていないので注意されたい。

国別でベネズエラによる輸入が最も多い国は中国で、前年比15.3%増の約34.7億ドル。

前述の通り、中国の貿易当局は2023年の国別輸出額は公表しているが、品目別の輸出額は公開していないので、詳細を確認することはできない。

2位は米国で、前年比10.4%増の約25億ドル。

品目別では「機械・電子機器」の輸入が5.3億ドルと最も多く、具体的には携帯電話の輸入が多い。

2番目に輸入が多い品目は「原油・石油製品」で約4.8億ドル。

前年の約1億ドルから5倍近く増加した。

Chevronは制裁ライセンスにより、ベネズエラ向けに希釈剤などを送ることが許可されており、それらの取引が反映されたと思われる。

3位はブラジルで、前年比13.2%減の約11.5億ドル。

ブラジルから最も輸入が多い品目は「穀物」で約2.4億ドル。

次いで、「動物・植物性油脂」で約1.9億ドルと続く。

4位はコロンビアで、前年比6.5%増の約6.7億ドル。

品目別では「プラスチック・同製品」で約7.9億ドル。

次に「糖類・砂糖菓子」で約6.3億ドルと続く。

日本は、現在統計が確認できている国の中では13番目。前年比70.4%増の約5,830万ドルだった。こちららも詳細については「[ウィークリーレポート No.349](#)」を参照されたい。

表：ベネズエラの主要輸入国

(単位：百万ドル、%)

1	国名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	前年比
1	中国	2,535.9	1,751.1	1,146.5	1,540.1	1,518.8	2,185.9	3,009.0	3,468.5	15.3
2	米国	5,214.3	4,127.2	6,073.9	1,302.1	1,130.3	1,613.7	2,266.4	2,501.3	10.4
3	ブラジル	1,275.7	469.7	576.9	418.1	782.1	1,086.0	1,329.1	1,153.5	△ 13.2
	パナマ	602.3	479.4	328.0	422.3	392.6	701.7	1,199.9		
4	コロンビア	613.9	319.4	354.3	195.9	196.0	331.2	632.3	673.4	6.5
5	トルコ	18.0	37.5	120.5	131.6	236.3	299.7	365.8	365.4	△ 0.1
	メキシコ	600.3	1,079.6	994.5	355.1	269.9	171.3	266.4		
6	アルゼンチン	706.9	246.2	359.4	126.4	104.0	175.2	227.3	258.0	13.5
	インド	73.2	81.7	73.3	241.4	758.5	311.9	188.6		
7	カナダ	192.5	152.2	68.4	41.4	54.9	134.6	140.6	190.9	35.8
8	イタリア	253.1	167.3	131.9	95.8	161.8	105.6	142.1	159.1	12.0
9	スペイン	240.1	125.3	209.5	336.4	222.3	128.0	141.4	157.1	11.1
10	ペルー	81.0	48.6	25.6	37.8	35.3	87.1	125.9	137.6	9.3
11	ドイツ	276.8	191.9	149.6	58.2	38.5	59.8	87.7	89.7	2.3
12	チリ	146.9	67.2	76.1	54.9	43.1	58.4	106.2	84.4	△ 20.5
	ウルグアイ	49.3	20.0	27.0	27.2	3.9	33.7	65.2		
	UAE	19.5	49.6	39.9	30.4	50.1	36.8	65.1		
	ガイアナ	3.5	16.6	3.1	73.8	94.2	64.8	58.6		
	ベトナム	18.8	20.0	20.8	20.5	22.0	25.5	56.9		
13	日本	103.6	73.0	19.8	35.6	17.9	18.2	34.2	58.3	70.4
14	エクアドル	144.1	49.7	36.0	26.8	21.3	49.4	63.9	53.5	△ 16.3
15	スイス	184.8	77.4	50.2	29.8	26.5	33.2	34.1	52.5	54.1
	その他	2,621.3	1,265.7	1,247.6	884.0	812.4	692.8	587.8	395.2	△ 32.8
	合計	15,975.6	10,916.3	12,132.8	6,485.6	6,992.6	8,404.4	11,194.5	9,798.5	△ 12.5

(出所) ITC (2024年4月6日時点) ※空白欄はデータ未公表の国

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減（4月5日時点）

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	16.9	18.15	17.53	7.35
2018-II	13.625	2018/8/15	17.7	19.35	18.53	9.62
2018	7	2018/12/1	13.1	14.5	13.80	10.84
2019	7.75	2019/10/13	14.75	16.2	15.48	11.33
2020	6	2020/12/9	14.5	15.8	15.15	10.58
2022	12.75	2022/8/23	19.6	20.95	20.28	18.22
2023	9	2023/7/5	17.05	18.4	17.73	21.20
2024	8.25	2024/10/13	16.5	17.6	17.05	17.99
2025	7.65	2025/4/21	16.05	17.35	16.70	15.57
2026	11.75	2026/10/21	19.55	20.45	20.00	10.04
2027	9.25	2027/9/15	19.45	20.85	20.15	11.79
2028	9.25	2028/5/7	17.7	18.95	18.33	11.57
2031	11.95	2031/8/5	19.1	20.25	19.68	14.06
2034	9.375	2034/1/13	18.85	20.1	19.48	12.41
2038	7	2038/3/31	15.4	16.8	16.10	9.34
電力債 2018	8.5	2018/4/10	6.2	7.95	7.08	11.42

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	79.5	82	80.75	0.25
2021	9	2021/11/17	11.2	12.35	11.78	11.61
P 2022	12.75	2022/2/17	14	15.15	14.58	15.67
D 2022(N)	6	2022/10/28	7.45	9.95	8.70	10.13
V 2024	6	2024/5/16	10.1	11.4	10.75	13.16
S 2026	6	2026/11/15	10.25	11.5	10.88	12.99
A 2027	5.375	2027/4/12	10	11.25	10.63	8.70
2035	9.75	2035/5/17	12.95	14.1	13.53	14.86
2037	5.5	2037/4/12	9.95	11.2	10.58	10.73

	百万ドル	先週比
外貨準備	9,866	0.78

為替レート	ボリ／ドル	先週比
両替テーブル	36.23	△ 0.17
並行レート	38.86	0.18

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolar Today

解説

今週のベネズエラ公社債の価格は先週比で大幅なプラスとなった。

主な要因は、MCM氏が想定よりも柔軟な対応でマドゥロ政権に対応していること。

今のところMCM氏も大統領選に参加する意思を変えていないことが市場の好感を持たれたと思われる。

また、4月18日に期限を迎えるベネズエラ石油産業への制裁緩和措置に関して、米国政府がそこまで強硬な対応を執らないとの観測が高まっていることも債券のプラス要因となった。

為替レートは、並行レートがボリバル安に推移した一方で、公定レートはボリバル高に触れ、両者の差は拡大した。

以上